

古賀市在住 Sさんの住まい

新しいのに、どこか懐かしい 深い味わいがある古民家風の家

心に安らぎを覚えるのは、たくましい梁や柱など
刻まれた記憶がよみがえるノスタルジックな空間。
古き良き日本建築に現代デザインを取り入れた新築の家が完成!

見た目は古民家風、家の中は
最新設備を取り入れた住まい

「長年培ってきた奥さまのセンスの集大成が表れていると思えます!」と「ハウスランド社」の代表・三土さんも太鼓判を押すこちらのお宅。家とインテリアのコーディネートがステキ過ぎて、何か

ら取材をしてよいかかわらない。まるでモデルルームのようだ。棚、照明、絵、時計など、部屋のインテリアはほぼ今まで持っていたものを使用。なのに、こんなにしっかりと部屋に溶け込んでいる。

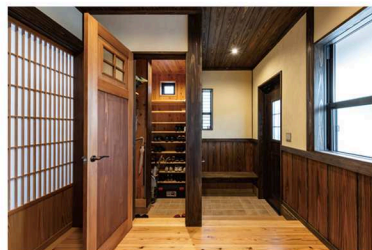
昔から趣のある一軒家に惹かれていたという奥さま。「古い伝統的な日本家風が好きで、その中でも、大正浪漫や昭和初期を彷彿とさせる洋の要素が入った家が好きなんです。特にアンティークのガラスをはめ込んだ建具は、照明の光が反射するとゆらゆら揺れて、雑誌を見るだけでもうっとりしています。最初は中古物件を探したが、納得がいく物件がなかなか見つからない。そんなときに見つけたのが「ハウスランド社」のホームページだった。「住まいとデザイン」というページを開くと、奥さまの好きなすりガラスを使った大製建具の施工例の写真がスラッと飛び込んでくる。「あの時の喜びは、今も忘れられません。この会社なら思い描いているわたしのイメージを汲み取ってくれると思います。」



階段下のスペースを利用して
つくったパソコンスペース



ダウンライトを塗り壁に照らすと、夜はホテルやレストランのようなシックな雰囲気になる!



家族全員の靴を収納できるシューズボックスの中には、荷物を置いたりバッグをかける場所も確保した。



家づくりの
お宅訪問
Interview with new home!

REPORT #00

和モダンな住空間を足元から演出する「浮造りの床」と、美しいリビングダイニング。木の表面を丁寧にこすり年輪を浮き上がらせた大工職人の技が光る